

令和5年度保健科学部 理学療法学科 4学年 シラバス

哲学	・・・P1～
日本国憲法	・・・P4～
英語Ⅲ	・・・P7～
チーム医療Ⅱ（演習）	・・・P10～
卒業研究	・・・P13～
運動器障害理学療法学特論	・・・P15～
神経障害理学療法学特論	・・・P18～
理学療法発展領域論	・・・P21～
応用的臨床技能演習	・・・P24～
臨床実習Ⅴ	・・・P27～
地域理学療法学実習	・・・P29～

科目名 : 哲学
英語名称 : Philosophy
担当責任者 : 福田俊章
開講年次 : 3年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択

概要 : 人間は人間であるかぎり誰でも、考えることをやめない。そして、哲学するとは「みずからよく考える」ことに外ならない。「哲学への最良の入門は自分で問題を立てること、自分でその問題を考えることだ」と言われるのも、そのためである。この授業では、そうした営みの事例に触れることで、各人が「みずからよく考える」ようになることを目指したい。

学習目標 : 「いい哲学者になるためにたった一つ必要なのは、驚くという才能だ」（『ソフィーの世界』）と言われるのはどうしてか。「哲学を馬鹿にすることこそ、真に哲学することである」（パスカル）、「人は決して哲学を教わるが出来ず、たかだか哲学するのを学ぶことが出来るだけである」（カント）とはどういう意味か。こうした問題意識に触れることによって、哲学的な思索態度を身につける。
1 ヨーロッパ古代の哲学 2 ヨーロッパ中世の哲学
3 ヨーロッパ近代の哲学 4 現代哲学の諸問題

テキスト : 教科書は特に用いない（特定の模範解答を習い覚えることが授業の目的ではないからである）。

参考書 : 木田 元『反哲学史』講談社学術文庫、2000年 書名にある通り、古代から現代までの西洋哲学の歴史を時間軸に沿って叙述したもの
麻生博之・城戸 淳編『哲学の問題群 もういちど考えて見ること』ナカニシヤ出版、2006年 こちらは心身問題や他我認識、決定論問題などテーマごとに議論を展開したもの
その他適宜資料を配付するとともに、参考文献の紹介に努めたい。

成績評価方法 : (1) 授業への出席や授業中の討論への参加態度を中心に評価する。授業中の討論では、積極的に討論に参加しようとする態度を求めたい。

その他 : 自分の頭でものを考える機会と考えて御参加ください。授業時間が6
メッセージ等 : 0分と短い分、むしろ学生の皆さん自身に考えてもらう機会を増やしたいと思っています。

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	10月30日	7	駅前	福田俊章	「知を愛する」こと、ロゴスの探求としての哲学
2	11月6日	7	駅前	福田俊章	古代ギリシアの自然哲学 存在と生成変化、水は水のまま水以外のものになる？
3	11月13日	7	駅前	福田俊章	ソクラテス 「無知の知」、「知らない」ということをどうして知っているのか？
4	11月30日	4	駅前	福田俊章	プラトン イデア論、ただちょっと「忘れていた」だけ？
5	11月30日	5	駅前	福田俊章	アリストテレス イデア論批判 梅は梅らしく、桜は桜らしく？
6	12月7日	4	駅前	福田俊章	ヘレニズムとヘブライズム 世界は初めからあったのか、それともだれかが創ったのか
7	12月7日	5	駅前	福田俊章	ヨーロッパ中世の哲学と宗教 信仰と理性は両立するのか？
8	12月14日	4	駅前	福田俊章	近代哲学の幕開け 人権思想と近代的自然科学とに通底するものは？
9	12月14日	5	駅前	福田俊章	デカルト 「我思う、故に我あり」、私に心はあるのか？
10	12月21日	4	駅前	福田俊章	大陸「合理論」と英国「経験論」 我々人間の知識は何に由来するのか？
11	12月21日	5	駅前	福田俊章	カント 「我々の認識は経験と共に始まるが、だからと言って経験にもとづいて生じるわけで
12	1月11日	4	駅前	福田俊章	心身問題 相互作用説と随伴現象説、テレパシーは心の存在を証するか？

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月11日	5	駅前	福田俊章	人格の同一性 身体説と記憶説 記憶と身体どちらが入れ替わったのか？
14	1月18日	4	駅前	福田俊章	科学の科学性 検証と反証、反証不可能な主張は科学的か？
15	1月18日	5	駅前	福田俊章	神の存在証明 完全無欠な存在者は必ず存在するか？

科目名 : 日本国憲法
英語名称 :
担当責任者 : 元井貴子
開講年次 : 年 期 単位 授業形態 :
必修・選択 :

概要 : 本科目では日本国憲法に関し、命との関りという視点から講義を行う。生まれる命に関しては、赤ちゃんポストの問題を取り上げる。他方で、失われる命に関しては、安楽死・尊厳死や死刑制度を取り上げる。また、海外では戦争によって命が失われる事態が発生しており、日本も国民の命を守るために憲法9条改正の議論が盛んになっている。そこで、失われる命に関するものとして憲法9条問題も取り上げ、日本の防衛について学んでいく。更に、PBL（課題解決型学習）も取り入れ、最終日には各自で興味のある社会問題につき調査検討等をし、自身の研究結果を共有する。

学習目標 : 1.現代の憲法問題を理解できる 2.憲法問題につき多角的に考察でき、自身の意見を持つことができる 3.社会問題の課題を明確化し、これに対する解決策を探求する力を養える

テキスト : なし

参考書 : にじいろ憲法 元井貴子（著）青山ライフ出版 2022/11/15

成績評価方法 : ミニレポート60%（各20%×3回）、テーマ研究40%

その他 : 憲法問題に関し考えることを中心に講義を進めていきます。考えたことをミニレポートで簡潔にまとめていただきますが、正解はありませんので、どのような考えでも構いません。憲法知識等がなくても十分に学べる内容ですので、興味のある方は履修してみてください。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月12日	1	駅前	元井貴子	拳法総論～憲法と命の関係について学ぶ～
2	9月12日	2	駅前	元井貴子	安楽死・尊厳死～憲法上の問題点を学び、自説を考える～
3	9月12日	3	駅前	元井貴子	赤ちゃんポストの問題①～現状を知る～
4	9月12日	4	駅前	元井貴子	赤ちゃんポストの問題②～憲法上の問題点を学ぶ～
5	9月12日	5	駅前	元井貴子	赤ちゃんポストの問題③～各自の考えを共有・検討する～ *ミニレポート1
6	9月13日	1	駅前	元井貴子	憲法9条の問題①～憲法改正に向けた議論を知る～
7	9月13日	2	駅前	元井貴子	憲法9条の問題②～憲法上の問題点を学ぶ～
8	9月13日	3	駅前	元井貴子	憲法9条の問題③～各自の考えを共有・検討する～ *ミニレポート2
9	9月13日	4	駅前	元井貴子	死刑制度①～憲法上の問題点を学ぶ～
10	9月13日	5	駅前	元井貴子	死刑制度②～各自の考えを共有・検討する～ *ミニレポート3
11	9月14日	1	駅前	元井貴子	テーマ研究①～各自で興味のある社会問題(テーマ)を選定～
12	9月14日	2	駅前	元井貴子	テーマ研究②～テーマにつき調査～

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	9月14日	3	駅前	元井貴子	テーマ研究③～資料にまとめる～
14	9月14日	4	駅前	元井貴子	テーマ研究④～研究内容の共有～
15	9月14日	5	駅前	元井貴子	テーマ研究⑤～研究内容の講評・ブラッシュアップ～

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 英語3
英語名称 : English 3
担当責任者 : 安田尚子
開講年次 : 4年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 英語IA,Bおよび英語II A,Bで習得した知識・スキルに基づいて、英語の総合的なコミュニケーション能力の向上を目指す。課題とプレゼンテーションを通して特にライティングとスピーキングの能力を高める。
この授業は4学科合同で行う。

学習目標 : 1. 基本的な表現を正しく発音し、その意味が理解できる。
2. 様々なテキストの主題を理解することができる。
3. 学術的な語彙、文法、文章構成を理解することができる。
4. 地域に必要な情報を英語で提供することができる。
5. 視覚情報や映像を用いて情報を英語で表現することができる。

テキスト : 教員がハンドアウトを準備する

参考書 : 参考書：適宜指示する

成績評価方法 : クラス活動25%、課題25%、中間・期末試験各25%

その他 : 今までに培った英語力を基に、書く・話すといったプロダクションレベルのメッセージ等を身につけていきます。また、自分の意見を相手にわかりやすく伝えられるコミュニケーション能力をグループワークを通じて磨きましょう。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Introduction: syllabus, etc.
2			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
3			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
4			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
5			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
6			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
7			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
8			駅前	安田尚子 久保田恵佑	review (class1-7)
9			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
10			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
11			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
12			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
14			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
15			駅前	安田尚子 久保田恵佑	review (class 9-14)

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : チーム医療Ⅱ（演習）【保健4】
英語名称 : Team-based Health Care II（Exercises）
担当責任者 : 矢吹省司
開講年次 : 4年前期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 必修

概要 : チーム医療の実践について学ぶ。チーム医療Ⅱでは、呈示された症例を元に医学部と看護学部の学生と共に、小グループに分かれて、自分の職種は何が出来るか、何をすべきかについて討論する。そしてグループ毎に発表する。呈示する症例としては、多彩な症状を呈している、または多様な問題を有しているため診断や治療に多職種で関わる必要がある患者とする。

学習目標 : (1) チーム医療の目標を説明できる。
(2) チームメンバーと円滑なコミュニケーションを図ることができる。
(3) 各医療職種の専門性、役割および責任を説明できる。
(4) 症例に対して各医療職種が取り組むべき問題点を明確化し、自身の役割と仕事を説明できる。
(5) チーム医療の立場から医療を考え、メンバーと連携して問題解決ができる。
(6) Team STEPPS (Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety)を体験し、チーム医療の重要性を理解できる。

テキスト : 特定のテキストはありません。

参考書 : 川村治子、『医療安全ワークブック（第4版）』、医学書院、2018

成績評価方法 : レポート80%、教員によるグループ評価20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月19日	1	駅前	種田憲一郎 (国立保健医療科学院) 保健科学部教員 看護学部教員	2学部(看・保)5学科の学生 Team STEPPS (Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety)演習
2	9月19日	2	駅前	種田憲一郎 (国立保健医療科学院) 保健科学部教員 看護学部教員	Team STEPPS演習
3	9月19日	3	駅前	種田憲一郎 (国立保健医療科学院) 保健科学部教員 看護学部教員	Team STEPPS演習
4	9月19日	4	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	症例供覧(全グループ同じ症例) 学科毎のディスカッション
5	9月19日	5	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	グループ内自己紹介・職種紹介 グループディスカッション
6	9月19日	6	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	グループディスカッション
7	9月20日	1	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	発表資料作成 発表&質疑応答
8	9月20日	2	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	発表&質疑応答
9	9月20日	3	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	振り返りと意見交換
10	9月24日	1	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	3学部(医・看・保)6学科の学生 症例供覧 グループディスカッション
11	9月24日	2	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	グループディスカッション
12	9月24日	3	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	グループディスカッション 発表資料作成

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	9月24日	4	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	発表 & 質疑応答
14	9月24日	5	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	発表 & 質疑応答
15	9月24日	6	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	現場のカンファランス見学 (実際の多職種でのカンファランスを見て、学ぶ。大学病院編) 見学後の意見交換

担当教員

- ・保健科学部：矢吹省司 森下慎一郎 阿部浩明 星真行 佐藤聡見（理学療法学科） 五百川和明 倉澤茂樹 林博史 川又寛徳（作業療法学科） 高橋規之 福田篤志 佐藤久志（診療放射線科学科） 小川一英 豊川真弘 鈴木英明 高橋一人（臨床検査学科）
- ・看護学部：和田久美子 菅野久美 大川貴子 片桐和子 古溝陽子 吾妻陽子
- ・医療人育成・支援センター：大谷晃司 亀岡弥生 安田恵
- ・国立保健医療科学院：種田憲一郎

科目名 : 卒業研究（理学）【保健4】
英語名称 : Graduation Research
担当責任者 : 神先秀人
開講年次 : 4年前期 4単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 卒業研究では研究計画の立案から研究の実施、結果の解析、考察と結論の導出までの一連の基本的なプロセスを理解し、実行する。

学習目標 :
1) 卒業研究計画書を作成できる。
2) 卒業研究計画書にしたがって研究を実施できる。
3) 研究対象者への説明と同意などの倫理的配慮が実施できる。
4) 収集したデータを適切に管理できる。
5) 卒業論文を作成できる。

テキスト : 特定のテキストはありません。

参考書 : 授業中に紹介します。

成績評価方法 :
・ゼミを通して、論文作成を含む研究への取り組み方を評価します。(60% 評価者:指導教員)
・作成した卒業論文を評価します。(40% 評価者:学科教員)

その他 : 新しい知見に到達しようという意欲をもって取り組んでください。
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
			駅前	理学療法学科研究 指導教員	研究計画検討 予備実験 研究計画再検討 研究計画発表会
			駅前	理学療法学科研究 指導教員	計測実施 解析・考察・発表会準備
			駅前	理学療法学科研究 指導教員	卒業研究発表会 卒業論文作成

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 運動器障害理学療法学特論 【保健4】
英語名称 : Advanced Physical Therapy in Musculoskeletal Conditions
担当責任者 : 神先秀人
開講年次 : 4年前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択

概要 : 運動器障害理学療法特論では、運動器障害理学療法学および演習で取り扱わなかった「熱傷に対する理学療法」について学ぶ。また、これまで学んだ種々の運動器疾患に関連した最新の知見について学修する。

学習目標 : 運動器疾患の理学療法に関連する最新の知見を理解する。

テキスト : 特定のテキストはありません。資料を準備します。

参考書 : 授業中に紹介します。

成績評価方法 : 定期試験80%、レポート20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	矢口春木 (東北大学病院)	熱傷の理学療法1 (評価)
2			駅前	矢口春木 (東北大学病院)	熱傷の理学療法2 (治療)
3			駅前	神先	変形性股関節症の理学療法 最新のトピック (保存療法)
4			駅前	神先	変形性股関節症の理学療法 最新のトピック (手術方法)
5			駅前	神先	変形性股関節症の理学療法 最新のトピック (術後管理)
6			駅前	神先	変形性膝関節症の理学療法 最新のトピック (保存療法)
7			駅前	神先	変形性膝関節症の理学療法 最新のトピック (手術方法と術後 管理)
8			駅前	中野渡	人工股関節術後の理学療法 最新のトピック (手術方法)
9			駅前	中野渡	人工股関節術後の理学療法 最新のトピック (術後管理)
10			駅前	中野渡	人工膝関節術後の理学療法 最新のトピック (手術方法)
11			駅前	中野渡	人工膝関節術後の理学療法 最新のトピック (術後管理)
12			駅前	遠藤	肩関節疾患の理学療法 最新のトピック (保存療法)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	遠藤	肩関節疾患の理学療法 最新のトピック（手術と術後管理）
14			駅前	小俣	脊椎疾患および腰痛の理学療法 最新のトピック（保存療法）
15			駅前	小俣	脊椎疾患および腰痛の理学療法 最新のトピック（手術と術後管理）

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 神経障害理学療法学特論【保健4】
英語名称 : Advanced Neurological Physical Therapy
担当責任者 : 阿部浩明
開講年次 : 4年前期 1単位 授業形態 : 講義・演習
必修・選択 : 必修

概要 : 神経障害の理学療法・リハビリテーションに関する最新のトピックスを理解します。

学習目標 : 1) 神経障害による運動機能を科学的にとらえ、中枢神経障害に対して試みられる新しい介入方法や試みを学習します。
2) リハビリテーションに関する最新のトピックスについて、講義と演習を交えながら臨床で活かせる知識と技術を習得します。

テキスト : 標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学 吉尾雅春他編 医学書院

参考書 : 脳卒中理学療法の理論と技術 原寛美他編集 メジカルビュー
脳卒中片麻痺者に対する歩行リハビリテーション 阿部浩明他編集 メジカルビュー
高次脳機能障害に対する理学療法 阿部浩明編集 文光堂

成績評価方法 : 定期試験（筆記試験）100%

その他 : 授業で実技を行う場合には、事前に体操服に着替えるようお知らせします。
メッセージ等 : また、シラバスに沿って授業を展開します。事前に講義内容について予め学習して臨んでください。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	阿部浩明	神経障害理学療法学を学ぶ上で必要な神経機構の整理
2			駅前	阿部浩明	脳画像の情報と運動・感覚機能との関連性
3			駅前	阿部浩明	脳画像の情報と高次脳機能障害との関連性
4			駅前	阿部浩明	先端的脳画像研究概論
5			駅前	阿部浩明	中枢神経系の可塑性と理学療法との関係性
6			駅前	阿部浩明	運動制御と運動学習の理論
7			駅前	阿部浩明	神経可塑性と運動学習理論に基づく運動療法
8			駅前	阿部浩明	早期理学療法のエビデンス
9			駅前	阿部浩明	早期理学療法の実践
10			駅前	阿部浩明	下肢装具を用いた中枢神経系理学療法の前線
11			駅前	阿部浩明	歩行分析に基づく中枢神経系障害の歩行障害の要因
12			駅前	阿部浩明	中枢神経系障害による歩行能力の再建の実際

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	阿部浩明	物理療法を併用したニューロリハビリテーション
14			駅前	阿部浩明	ロボティクスを用いたニューロリハビリテーション
15			駅前	阿部浩明	再生医療とリハビリテーション

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 理学療法発展領域論 【保健4】
英語名称 : Current Topics and Issues in Physical Therapy
担当責任者 : 高橋仁美
開講年次 : 4年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 理学療法および関連分野において、比較的新しくかつ急速に発展が認められる領域に焦点を当て、先端の知識や治療技術を学ぶことを目的に教授する。

学習目標 :
1) ロボティクスと理学療法について説明できる。
2) 産業保健と理学療法について説明できる。
3) 精神・心理領域の理学療法について説明できる。
4) 特別支援教育と理学療法について説明できる。
5) 動物に対する理学療法について説明できる。
6) 基礎研究における理学療法士の可能性について説明できる。
7) 行政機関における理学療法士の可能性について説明できる。
8) 福祉工学と理学療法について説明できる。

テキスト : 特定のテキストはありません。

参考書 : 授業中に紹介します。

成績評価方法 : 定期試験70%、レポート30%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	安永好宏 (CYBERDYNE株式会社) 鈴木一恵 (国立病院機構いわき病院)	ロボティクスと理学療法
2			駅前	安永好宏 (CYBERDYNE株式会社) 鈴木一恵 (国立病院機構いわき病院)	ロボティクスと理学療法 (デモン ストレーションを含む)
3			駅前	佐藤友則 (東北労災病院)	産業保健と理学療法 現状
4			駅前	佐藤友則 (東北労災病院)	産業保健と理学療法 可能性と課題
5			駅前	仙波浩幸 (日本保健医療大 学)	精神・心理領域の理学療法 現状
6			駅前	仙波浩幸 (日本保健医療大 学)	精神・心理領域の理学療法 可能性と課題
7			駅前	竹田智之 (横浜市 教育委員会 特別支 援教育相談課)	特別支援教育と理学療法 現状
8			駅前	竹田智之 (横浜市 教育委員会 特別支 援教育相談課)	特別支援教育と理学療法 可能性と課題
9			駅前	野口裕美 (四條畷大学)	動物に対する理学療法 現状
10			駅前	野口裕美 (四條畷大学)	動物に対する理学療法 可能性と課題
11			駅前	坂本美喜 (北里大学)	基礎研究における理学療法士 現状
12			駅前	坂本美喜 (北里大学)	基礎研究における理学療法士 可能性と課題

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	田上未来 (厚労省社会・援 護局)	行政機関における理学療法士の可能性
14			駅前	田上未来 (厚労省社会・援 護局)	福祉工学と理学療法
15			駅前	高橋仁美	私の考える理学療法の発展領域 (ディスカッション)

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 応用的臨床技能演習【保健4】
英語名称 : Exercises in Advanced OSCE
担当責任者 : 遠藤康裕
開講年次 : 4年 後期 1単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 概要：本科目は臨床実習Ⅲ～Ⅴの履修を通して、理学療法士養成教育終了時に獲得しているべき臨床技能の水準に到達しているかを判定することを目的とする。

学習目標 :
1) 臨床実習Ⅴで経験した症例を報告し、専任教員の質疑に応答できる。
2) 模擬症例について情報収集、評価、治療の一連の過程を計画できる。
3) 模擬患者に対して必要な検査測定を実施できる。
4) 模擬症例の評価結果を記録し報告できる。
5) 臨床実習（総合実習）の到達目標に達していることを示せる。

テキスト : 応用的臨床技能演習実施要領

参考書 : 必要に応じて紹介します。

成績評価方法 : 応用的臨床技能試験100%

その他 :
1) 応用的臨床技能試験では各項目で60%以上の得点で合格とします。
メッセージ等 2) 応用的臨床技能試験に不合格となった場合、1週間後に再試験を1回に限り実施します。

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1~ 2			駅前	臨床実習担当教員	オリエンテーション
3~ 4			駅前	臨床実習担当教員	臨床実習Ⅴ症例発表 グループ1
5~ 6			駅前	臨床実習担当教員	臨床実習Ⅴ症例発表 グループ2
7~ 8			駅前	臨床実習担当教員	臨床実習Ⅴ症例発表 グループ3
9~ 10			駅前	臨床実習担当教員	臨床実習Ⅴ症例発表 グループ4
11 ~ 12			駅前	臨床実習担当教員	臨床実習Ⅴ症例発表 グループ5
13 ~ 14			駅前	臨床実習担当教員	模擬症例提示と課題練習 練習（医療面接）
15 ~ 16			駅前	臨床実習担当教員	模擬症例提示と課題練習 練習（機能的検査）
17 ~ 18			駅前	臨床実習担当教員	模擬症例提示と課題練習 練習（動作分析）
19 ~ 20			駅前	臨床実習担当教員	模擬症例提示と課題練習 練習（日常生活動作指導）
21 ~ 22			駅前	臨床実習担当教員	模擬症例提示と課題練習 練習：報告
23 ~ 24			駅前	臨床実習担当教員	<small>心用的臨床技能試験</small> 1. 医療面接 2. 機能的検査 3. 動作分析 4. 日常生活動作指導 5. 報告

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25 ~ 26			駅前	臨床実習担当教員	<small>心用の臨床技能試験</small> 1. 医療面接 2. 機能的検査 3. 動作分析 4. 日常生活動作指導 5. 報告
27 ~ 28			駅前	臨床実習担当教員	<small>心用の臨床技能試験</small> 1. 医療面接 2. 機能的検査 3. 動作分析 4. 日常生活動作指導 5. 報告
29 ~ 30			駅前	臨床実習担当教員	<small>心用の臨床技能試験</small> 1. 医療面接 2. 機能的検査 3. 動作分析 4. 日常生活動作指導 5. 報告

科目名 : 臨床実習Ⅴ（理学）【保健4】
英語名称 : Clinical Practice Ⅴ
担当責任者 : 森下慎一郎
開講年次 : 4年前期 7単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 「臨床実習Ⅴ」は臨床実習Ⅳに引き続き行われる総合実習である。実習指導者の指導のもとで診療参加型実習として、代表的な疾患に対して評価および治療を経験する。この過程で治療プログラムの立案も経験し、臨床的思考過程を学ぶ。また、この過程で症状、治療結果や経過に合わせて適切にプログラムの変更ができることを目指す。本臨床実習は、すべて福島県内の医療機関や介護老人保健施設で実施する。その中で、福島県の地域に根差したそれぞれの実習施設において、地域の特性に合わせた理学療法士の役割も学ぶ。本科目は、本学部がキーワードとしている「地域医療」に対応する科目である。担当教員は定期的に学生および実習指導者と連絡をとって指導するとともに現地巡回を行って指導する。

学習目標 :
1) 指導者の助言を仰ぎながら、他部門との情報交換ができる。
2) チーム医療の必要性を認識することができる。
3) 治療プログラムに関する目的、技術等の基本的知識を述べることができる。
4) 治療におけるオリエンテーションと動機付けができる。
5) 基本的な治療（技術）を実施できる。
6) 対象者のリスクを把握し、指導者の助言を仰ぎながらリスクの配慮、管理ができる。
7) 症状、治療結果や経過に合わせて適切にプログラムの変更ができる。

テキスト : 臨床実習要綱（実習の手引き）、臨床実習関係書類

参考書 : 必要に応じて紹介します。

成績評価方法 : 実習報告書60%、症例報告（発表及び報告書）20%、ポートフォリオ20%

その他 : 実習開始前学内オリエンテーションや実習後の報告会などは別途日程で実施
メッセージ等 します。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
			各実習地	臨床実習指導者 臨床実習担当教員	オリエンテーション、施設内見学、理学療法場面見学
			各実習地	臨床実習指導者 臨床実習担当教員	診療参加型実習、情報収集・評価・プログラム立案・治療カンファレンス等参加
			各実習地	臨床実習指導者 臨床実習担当教員	診療参加型実習、再評価・プログラム変更・治療カンファレンス等参加
			各実習地	臨床実習指導者 臨床実習担当教員	診療参加型実習、再評価・プログラム変更・治療まとめ

受講要件☒

OSCEに合格していること。

科目名 : 地域理学療法学実習
英語名称 : Practice of Community-based Physical Therapy
担当責任者 : 横塚美恵子
開講年次 : 4年前期 1単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 地域在住の理学療法対象者に生活機能に視点をおいた評価を行い、支障をきたしている点を整理し、理学療法士としての知識や技術の提供を行う一連の過程を理解する。訪問リハビリテーションまたは通所リハビリテーションの見学、体験をとおり、実習指導者の助言、指導のもと、対象者の一連の過程を経験する。担当教員は学生および実習指導者と連絡をとって指導するとともに必要に応じて現地巡回を行って指導する。当科目は、地域医療に関連する科目である。

学習目標 : 1) 実習施設における見学をとおして、訪問リハビリテーションまたは通所リハビリテーションの役割と目的を理解する。
2) 医療、保健、福祉における他職種・同職種の連携を理解する。
3) 生活機能に視点を置いた一連の理学療法を見学し理解する。
4) 指導者の助言、指導のもと生活機能に必要な情報収集と理学療法の評価を実施し、知識や技術を提案できる。

テキスト : 臨床実習要綱（実習の手引き）、臨床実習関係書類

参考書 : 必要に応じて紹介します。

成績評価方法 : 実習報告書60%、症例報告（発表及び報告書）20%、ポートフォリオ20%

その他 : 実習開始前学内オリエンテーションや実習後の報告会などは別途日程で実施
メッセージ等 します。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
			各実習地	臨床実習指導者 臨床実習担当教員	実習施設における理学療法の流れを1日とおして見学する。
			各実習地	臨床実習指導者 臨床実習担当教員	訪問リハビリテーションまたは通所リハビリテーションを利用している地域在住の対象者に対して、生活機能に必要な情報収集と評価を一部実施する。
			各実習地	臨床実習指導者 臨床実習担当教員	上記の対象者に対して、実習指導者の助言、指導のもと理学療法を提案し、実施する。